

Title	小売制度の改善と公開市場
Sub Title	
Author	河津, 暹
Publisher	三田学会
Publication year	1912
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.6, No.1 (1912. 1) ,p.1- 16
JaLC DOI	10.14991/001.19120100-0001
Abstract	
Notes	論説
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19120100-0001">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19120100-0001</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

廣告主へ御注文の節は三田學會雜誌廣告に依る御附記を望む

# 營業御案内

徽 章 賞牌

金銀木盃 七寶

其他美術金屬各種

期日正確、技術精巧、品質純良、價格低廉

右之通御注文に應じ調製上納申上可く候間多少に不拘御用命の程伏て奉願上候

東京市麴町區飯田町三丁目十番地

諸官省 御用

日本帝國徽章商會

鈴木梅吉

電話番町八百五十七番

## 三田學會雜誌 第六卷第一號

論 說

### 小賣制度の改善と公開市場

河 津 暹

1 我國が國民經濟を發展するが爲には解決せざる可からざる問題甚だ多し。我等が生活を低廉ならしむる道を講ずるが如きは其の最も重要なものの一なり。我等の多くは單に傳説と慣習とに捕へられて無意識に生活す勿論これ等のものと雖も一定の收入に衣食する以上は經濟顯象の變化するに連れて少からず困難を感ぜざるを得ずと雖も傳説と慣習との勢力牢乎として動すべからざるを以て單に之に對し怨嗟の聲を放つのみにて其束縛桎梏を免れんとせざるなり。吾人

小賣制度の改善と公開市場

は毎に生活難の聲を耳にするに非ずや、生活難の因て來る所勿論一は外界にありと雖も一は我等が無意識に生活するより來れるものなり。我等經濟學を修むるもの口に筆に國民に警告して以て之をして無意識に束縛桎梏の下に呻吟するものを濟ふ所なからざる可からざる也。其のことたる獨りこれ等の同胞をして生活難より脱れしめて以て私經濟上幸福ならしむる外に國民經濟上極めて必要なることに屬す。謂ふに我等は奢侈の生活と普通の生活との間に明確なる區別をなすを要す富有なるものは駟馬を驅て街路を横行するも可なり金殿玉樓に酒池肉林の樂に耽るも可なり其事の世道人心の上より觀て之を稱するにあらず我等が之を可なりといふは畢竟我等の生活と没交渉なればなり。我等は國民多數のもの、生活即ち予輩の所謂普通の生活は厭くまで經濟的に慰安的ならざる可らず、我國の生産力經濟力に至大の關係あればなり。世人はいふ我國の賃金は先進國に比して低廉なり是れ我國が資本に乏しく技術の發達尙未だ幼稚なるに拘らず、克く世界市場に於て諸外國と角逐する所以なりと。予輩は其の果して然るやを知ることも能はず一國の賃金が他國に比して低廉なりや否やを決するは單に賃

金の多少によるべきものに非ず其の勞働の功程を比較して初て決すべきのみ。此意味に於て我國の賃金は諸先進國に比して果して低廉なりや否やは夥多の材料を集めて比較研究するに非れば俄に之を決すること能はざるなり。予輩はここに此問題を捉へて讀者の教を請はんとするものに非ず、其の果して然るや否やは暫く措き現今の如く國際競争の日に激烈なるの秋に當り勞働の功程に比較し少しにても賃金の少からんことを希望して已まざるものなり。予輩が先覺諸氏の驥尾に附して食料品問題若しくは物價問題を云々したる意實に之が爲のみ。されば國民の生計問題に關する所極めて廣し。こゝに此等の問題に亘り卑見を披陳せんとするものに非ず、只其問題の極めて小なる部分につき數言を費して以て文責を塞がんと欲するのみ。予輩のこゝに論述せんとする所は小賣相場が公開市場の設置により或程度まで低廉ならしむるを得るやの問題なり。この問題は予輩の小賣制度に關する卑見の一部分にして其餘の小賣制度に關する卑見は他日稿を改めて論述せんことを期す。

4 我等が日常消費する貨物が生産者の手を離れて我等の手に入るまでには夥多の販賣機關を経由す。是等の販賣機關が主として歴史上の産物にして俄に之を變更すること能はざる可しと雖も其の複雑繁鎖なるは物價を高め所謂普通の生活の費用を増加するものにして我等の經濟にとりて少からざる關係を有するものなるが故に決して慶ぶべきことにあらず。蓋し販賣機關といはず販賣取引の方法にても經濟の理法に適するもの獨り榮へて之に反するものは自然消滅すべきは明なるものにして若し我國現時行はるゝ販賣機關販賣取引の方法にして經濟の理法に適せざるものならん乎多くの歳月を経る間には自ら廢滅するに至るべく我等が大言疾呼して之が廢滅を呪ふの必要なきが如しと雖も事國民の生計問題に關係する以上特に小賣制度の如き慣習傳説の勢力の最も強きものに至ては之を自然の趨勢に放任し置くべきものなりや疑なき能はざるなり。予輩を以て之を觀れば寧ろ經濟の理法に適する販賣機關販賣取引の方法を紹介し推奨し其の一日も速に發達せんことを希望するものなり。蓋し卸賣商業は畢竟經濟社會の實情に通ずるものゝ間に營まるゝものなるが故にたとひ歴史上の情勢尙其

威を逞うすると雖も當業者の間には自然競争行はるゝ程度大なるのみならず科學技術等を應用して其改善を計ること比較的容易なりと雖も小賣商業に至ては舊慣を墨守して其改善を計るもの少し。是れ獨り我國に於て見るの顯象にあらず泰西諸國に於ても尙且つ然るを見るなり。

我國の小賣制度は果して經濟の理法に適するものなりや。我國にては小賣相場と卸賣相場との間に少からず値開あり。其値開の程度は勿論貨物の種類によりても其地方地區によりても消費者の種類等によりても一様ならずと雖も少しく卸賣相場と小賣相場との實際につきて研究したるものは其の値開の甚だ少からざるを知るを得べし。而して其の値開の少からざるは我國の販賣組織並に販賣取引の方法の不完全なる事主なる原因をなすものなり。誤解する勿れ卸賣相場と小賣相場との差が少からずといはゞ直ちに小賣商人は不法の利益を壟斷するものなりと。若し小賣商人にして大に利益あるものなりとせば小賣商人は生計上困難を訴ふることなしと雖も事實は之に反するなり。即ち販賣組織の不完全なるが爲めに多數の手を経由する結果小賣相場は獨り増加して消費者を苦し

6 みるに過ぎざるのみ。

我國小賣制度の缺點は最も明に中流社會と小賣制度との關係に於て見るを得べし。社會下層のものは自ら信用少きが爲に次に陳ぶる缺點より免るゝとを得て其の支出する小賣値段は社會中層の者より比較的少し。中流社會と小賣制度との關係を見るに種々の理由により卸賣相場と小賣相場との間に懸隔ある外に

(一) 御用聞制度が弘く行はれて消費者は自ら店舗に到りて貨物を購ふことをなさず御用聞の來るを待つなり。

(二) 而も即時に代價を支拂ふことなく月末等に至りて初て支拂をなすなり。何か故に之を以て小賣制度に伴ふ缺點なりといふか。今少しく之を説かん。一般消費者は經濟社會の事情に通せざるものなり。貨物の品質と比較して價格の多少高低を判別するが如きは普通難しとする所なり然れども出で、店舗につきて所要の日用品を求むれば或程度までは選擇の自由あるが故に小賣商人は猥りに價格を高むること能はずと雖も御用聞をして所要の貨物を携え來らしめ其要求する代價を支拂ふ時は消費者に於ては其要求が果して適當なりや否やを知

るの便宜を有せず。小賣商人がよく商業道徳を守り正當なる代價を要求するものに非る限りは消費者は自然不當の代價を支拂はざるを得ざるなり現に地方に於ては米炭魚介の類に至るまで出入商人は初めの程は大に勉強して比較的廉價に供給すれども時を経るに従ひ或は品種を下し或は價格を高むるを常とするを以て消費者は他の小賣商人を出入せしめ更に其商人にして前者の如くなれば更に他の小賣商人を求め輾轉して久しきことを得ず小賣商人も之を以て毫も愧る所なきものありと聞く。この制度によりて消費者の負擔が如何なる程度に於て増加すべきかは正確にいふこと能はずと雖も其負擔の増加することは争ふ可からざるなり。前にいふ社會下層のものに至ては自ら店舗等につきて日用品を求むるを常とするが故にこの種の缺點なしといふを得べし。

代價の支拂につきても即時に之をなすものありと雖も月末に至りて勘定をなすもの少しとせず。社會下層のものに對しては現金拂にあらざれば貨物を供給せずと雖も中層のものに對しては寧ろ現金拂をなすを忌むなり。其の之を忌むは我等消費者に對して信用甚だ敦きの致す所にあらず御用聞制度と相待つて月

8  
未拂にせば自然比較的他の競争者を排斥して得意關係を持続する上に於て便宜なりとなすこと、取引の都度現金を授受するの彼我不便を感じるのみならず時に或は商業以外の費途に流用して却て不利益を招くの虞ありとなすに起因す。然れどもこの制度あるが爲めに小賣相場を騰貴せしむるは(一)少くとも其月末に至るまでの利子を失はざる可からざると(二)掛賣の結果消費者中支拂をなさざるものあり若くは支拂期を延ばすものあり従て小賣商人は多くの危険を見ざる可からざるが故に其危険損失を免るゝ爲めに豫め價格を増加するなり。曾て山手の某商人につきて聞きしことあり貸倒をなす割合は一割に近し故に豫め之を見積り置かざる可からずと。其のいふ所を以て凡ての小賣商業を律すること能はずと雖も正直なる消費者は掛賣の爲めに比較的多くの價格を支出せることは是れ争ふ可らざる事實なり。是等の販賣組織が經濟的なりとは予輩信ずること能はざるなり。故に我等にして販賣組織並に販賣取引方法の不完全より生ずる生計費の増加より免れんと欲せば一面には販賣機關をして遙に簡單なるものとなさしむると同時に萬難を排しても御用聞の制度と掛賣掛買の制度を廢するを

勉めざる可からず。是等の制度を廢しても我等が何等の苦痛を感ぜざるのみならず遙に利益あることを知悉すべし。其利益といふは我等の日用品等に費す支出額が少からず減少すると同時に掛制度に伴ふ濫費の弊より或程度まで免るを得べきなり。

## 三

近時購買組合は著しく發達し側面より小賣制度の刷新を促すと雖も尙大に遺憾あるは畢竟次の如き原因與て最も力あるに非ずやと思はる。即ち

- (一) 經營者其人を得難く従て經營の方法其宜しきを得ざること
- (二) 購買組合消費組合が其組合員に貨物を分配するに當りて現金主義に由ること困難なること
- (三) 購買組合の利益尙世に明ならず従て多數の組合員を加へせしむること難く従て組合をして活動せしむる上に於て困難なること

9  
等は其主なる原因に非るなきか。購買組合は性質よりいへば組合員に代りて日用品を購買分配するものなれば謂はゞ小賣商業類似のことをなすものなり。

10 故に購買組合は少くとも或程度までは商機を洞察して行動せざる可からず。經營者は一面消費者の利益を重んじ忠實に經營の任に當ると同時に一面には商才あるものならざる可らず經營者其人を得るの甚だ困難なるは察するに餘あるなり。而して經營者動もすれば成るべく廣く消費者の爲めに満足を與へんと欲し成るべく多くの貨物を取扱はんとす。然れども購買組合にて取扱ふ貨物の範圍益々廣ければ一方には價格の變動甚しきものあり、一方には消費者の需要するのと稀にして久しく資本を固定し置かざる可らざるが如き貨物ありて組合は危険を冒さざる可らず是れ同組合の發達甚だ遅々たる所以の一なり。前にも陳ぶるが如く我國には掛賣制度行はるゝ結果購買組合が小賣商人と競争せんと欲せば或程度までは現金主義を抛たざる可からず。然れどもこのことたる一方には貸倒の危険を冒さざる可からざると同時に一方には資本の回收自ら遅きが故にさなきだに微力なる購買組合の如きは活動する上に於て少からず困難を感せざるを得ざるなり。是れ購買組合の發達甚だ遅々たる所以の一なり。世人購買組合の利益を知るもの甚だ多からず従て組合員の數未だ多からざるか故に米穀が二

三の貨物を除きては遠く原生産地等より之を購買するも比較的に廉なること能はず組合員に廉價に貨物を分配すること困難なり是れ購買組合の發達甚だ遅々たる所以の一なり。購買組合の如きは我等の生活を低廉ならしむる方法の一なれば予輩は其の益々發達して小賣制度をして側面より刷新改善せしめんこと希望して已まざるなり。而して其の之を發達せしめんが爲めには少くとも上陳の故障の如きは最も研究せざる可からざること屬す。

## 四

小賣制度を側面より改善せしむる爲めに公開市場設置の議あり公開市場の制は近世の産物にして最初は食料品等の賣買に關する衛生上の理由に基き設立せられたるものなるが市街鐵道等の發達に伴ひ著しく發達をなしたるものなり。こゝに公開市場とは獨語に所謂 *Detailmarkthalle* の義にして中央市場とは異り市中四通八達の地を選びて市場を設け日常必需品をして其中に販賣せしめ汎く消費者をしてこゝに到り所要のものを求めしむるものにして自然現今の販賣組織に比し仲介の機關を省略し消費者をして其所要の貨物を自由に選擇し適當の價

12 格を以て之を購買するを得せしむる趣旨に出づ。即ち公開市場の直接の利益とする點は

- 一 市場の設備等が普通の店舗等に比し遙に優れるが故に魚類等を初め食料品等を貯藏するに適し衛生上利益少しとせざるなり。
- 二 市場は一定の料金を徴し小賣商人生産者等に一定の區劃地積を利用せしむるものなれば消費者はこれ等の者につき其好む所に従ひ適當なる價格を以て所要の貨物を購ふを得るなり。同市場を利用する商人の間には自由競争行はれて猥りに高價に貨物を販賣するを許さざるなり。特に同市場は之を監督すること容易なるが故に關係小賣商人等が聯合して價格を高め消費者を苦しむるが如きは萬ある可からざるなり。
- 三 公開市場の性質として現金拂を勵行するが故にこの點よりするも上に陳べたる我國の小賣制度に伴ふ弊害の一部を爰除すること難きに非ざるなり。我國の魚市場青物市場の如き一般消費者を排斥して絶對に之を利用せしめざる者に非ず我等消費者も自由に之に出入して所要の魚類等を求め得るものなれば

ども小賣人等が集りて利用するものなるが故に自然一般消費者は之に伍して所要の貨物を求むること困難となり消費者にして之を利用するものは甚だ稀なり。こゝにいふ公開市場は消費者を主とするものなれば設備其他の點につきて消費者の利益を主眼とせざる可からず從て現にある魚市場等とは直接に競争の位置に立つものに非ずして寧ろ之が補助的販賣機關なり。若し此等の公開市場にして大に活動するに至らば市中の小賣商人とは自ら競争の位置に立たざる可からざるは已むを得ざるなり。

泰西諸國の制を見るにこれ等公開市場は多くは市が設立經營するものにして市場の中一定の區劃地積を貸與して料金を徴し以て其設立に關する費用を償却し併せて之が維持に關する諸雜費を辨ずるものなるが其收益甚だ少からざるが故に獨りこれ等の費用を辨ずるに止らず市の財政の上に少からず利益を致すといふ否多くの研究によれば泰西諸國に於てこれ等公開市場を設置したるは半ば都市財政の都合に出づるものなりといふ。果して然らば市政の局に當るものはこの點よりも本問題に注意するの必要なからずや。誤解する勿れ。予輩がこゝ

14  
に公開市場の設立を希望するは決して都市財政政策の爲めにあらず我等消費者が日常消費する所を比較的に廉價に得んが爲めに公開市場の如きは比較的實行し易き手段なりと信ずるか爲なり。従てたとひ市其者が之を設立經營するに至るも財政上の都合によりて濫りに料金を増加して従て市場に於て販賣する貨物の價格を高むるが如きは厭くまで反對せざるを得ざるなり。換言せば市が之を經營するに當りては所謂手数料主義によりて其料金を定むべきなり。之を理論に照し先進國の事例に訴へ予輩は公開市場にして設置せられ相當に成績を擧ぐるを得ば我等消費者の日用品の價格を幾分低廉ならしむるを得べきは信じて疑はざるなり。但して、に考慮すべき問題は我國に於て公開市場設置せらるるとも一般消費者が果して多く之を利用すべきや否やの問題なり。私に謂ふに我國の俗ととして従前の小賣制度に慣るゝこと久しく、家居して御用聞の來るを待つゝの安逸なるのみならず、我國の家屋の構造上家婦が家を外にして日用品を求むるの不便なる點あり其他種々の理由よりしてたとひこれ等公開市場にして設置せらるゝとも直に一般消費者を吸集して小賣制度に一新紀元を劃するに至るべきやは

予輩とても大に疑なき能はざるなり然れども一般消費者が公開市場を利用するの多少は

(一) 公開市場に於て販賣する貨物の價格が市中の小賣相場に比較して如何なる程度に於て低廉なるべきか

(二) 公開市場の位置が一般消費者にとりて之を利用するに便宜なるべきやの二點によりて決するものなるべし。少くとも稍長き年月の中には優劣良否自ら判然たるべく我國の風俗として多少の故障ありとするもこれ等の故障を排斥して公開市場を利用するに至るべきなり。今上に陳べたる二點につき予輩の見所を陳ぶれば第一の點につきては現行小賣制度にして甚だ不完全不經濟のものなりとせば公開市場の經營にしてよく市民の利益に重きを置き而も其經營宜しきを得ば同市場に於て販賣する貨物の價格は市中の小賣相場に比して遙に低廉なるを得べくこの點に於ては予輩公開市場の甚だ有望なるを信せんとするものなり。第二の點につきては畢竟都市に設置せらる可き市場の數によりて決せらるべきことにして歐洲諸國の例より推すもたとへば我東京に於ては少くとも

16 二三箇所の市場を必要とすべし而して其設立の費用維持の費用等につき事實につきて之を計上するに非れば果して市民に幾何の利便を與へ之によりて日用品の供給につき從來の小賣制度に代はるを得べきかを決すること難きが故にこれ等の際につきて想像を逞くするを避け置くべし若し本問題にして世人の注意に上り單に想像理論の問題に非ずして現實の問題に變ずるを得ば予輩は力の許す限り夥多の材料を提出して其解決を資くるを辭せざるなり。要するに我國に於て公開市場にして設置せられなば久しからずして小賣制度に一變革を來すを得べし而して其の未だかくの如き變革を來さざる間もよく小賣商人を警醒して物價を騰貴せしめざるの結果を見るは疑を容れざるなり。國民の生計問題にして極めて重要なりとせば本問題の如きも亦併せて之を講究せられんことを希望して已まざるなり。

記し畢て我社會政策學會にては本年の討議題として國民の生計問題を選びたるを聞き本邦の諸學者が擧てこの種の問題に指を染められたるを感謝す。

## 「エルベルフェルド」救貧制度

堀江 歸一

17 英國の救貧制度は世界文明國を通じて最古の歴史を有し隨て幾多の事蹟に富み研究者に知識を與ふること鮮少ならずと雖も其歴史若しくは事蹟を一貫して人目に觸るゝ所は徹頭徹尾立法並に行政の無能を立證するの一事あるのみ。救貧法を實施して年久しきを經るに拘はらず爲めに救貧制度と密接の關係を有する労働者社會の生活状態を改良するに就て何等資する所ある能はず次代の國民を教訓して之に獨立の生計を營むに堪ゆる良民たらしむる能はず救貧法は時に受救民を遇するに犯罪人に對すると同一の處置に出でたることあり或は僧侶慈善家の要請に促されて受救民に過分の優遇を與へたることあり。然も其孰れに據るを問はず救貧法を以て根本的に貧困問題を解決するに至らず結局近年救貧法の行政に大改革を加ふると同時に社會政策上の見地より幾多の防貧的政策を施行し以て舊來の缺點を補足するの議論を生ずることゝ爲れり。要するに英國